

# 夢と誇り

と 西 大  
報 会 後  
ひ 援  
会 後

vol.6



## 保育所・幼稚園訪問

市内の保育所(園)と幼稚園を訪問し、元気いっぱい遊ぶ子どもたちとふれあいました。元気な声の挨拶や明るい笑顔に会うたびに心が温かくなり元気をもらいました。

NEWS

## 日本初のASPACを開催 盆栽を世界に発信

日本で初めての開催となる「アジア太平洋盆栽水石大会(ASPAC)」が、昨年11月18日から21日までの4日間、サンポート高松をメイン会場に、栗林公園、玉藻公園、鬼無・国分寺地区などで開催されました。大会初日、サンポートホール高松で催されたオープニングセレモニーでは、大会名誉副会長として国内外から来高の皆様が歓迎の挨拶をされました。



オープニングセレモニーで大会名誉副会長として歓迎のごあいさつ

この大会は2年ごとにアジア太平洋地域で開催されており、盆栽界では質量ともに世界最大ともいえる大会です。私は、約2年前にも台湾で行われた大会に参加したことがあり、高松での開催が決定してからは、実行委員会と連携しながら様々な準備を行いました。

鬼無・国分寺地区は古くから盆栽の生産が盛んで、特に松盆栽については、国内シェアの8割を誇る生産地であり、まさに世界中の愛好家の皆様が集うにふさわしい場所での開催になったと思います。



開幕を祝って皆で鏡割



ASPAC、フェアウェルパーティーで御礼の挨拶

夢と誇り 大西ひでと後援会会報 vol.6 平成24年1月20日発行

編集発行/大西ひでと後援会 〒760-0061 高松市築地町2-5 Tel.087-822-1024

## 祝！ 姉妹都市提携50周年 セント・ピーターズバーグ市を公式訪問

姉妹都市提携50周年記念式典や記念行事に参加するため、高松市の姉妹都市であるアメリカ、フロリダ州、セント・ピーターズバーグ市を訪ねてきました。

私が2年前に訪れた時より



砂で作った50周年のモニュメントを囲んで記念撮影

もさらににぎやかで魅力的になっていました。特に、全米の中規模都市の中で「アートの街」として2年連続第1位に輝いているだけあって、文化芸術面での充実が際立っていました。ダリの世界のコレクションで知られるダリ美術館が新築移転され、世界的なガラステキニケーションの場として、市民訪問団は平均年齢71歳と高齢の方が多かったのですが、全員が大いにアメリカを楽しんで帰って来ました。

## 中核市市長会 副会長として

今年度の役員改選で、本会の副会長を仰せつかり、早速、片山総務大臣を始め、民主党本部などを訪問し、提言活動を行いました。

現在、全国市長会副会長、同介護保険対策特別委員長、財団法人日本都市センター理事長など全国組織の役員も拝命し、力の限りを尽くしています。



## 個性を磨こう

大西ひでと後援会会長 平田 喜一郎



中央集権から地域主役の社会へ、という言葉がよく聞かれるようになってまいりました。たしかに中央集権は、かつての高度成長期であれば追いつけ追い越せで、限られた資源を有効に使い発展を遂げるには良い方法であったと思いますが、今日のような成熟した社会では話は変わってまいります。

ところでこの様な社会で我々に求められるものは何でしょうか。それは自律性だと思えます。又個性を磨くと言ってもよいでしょう。地域の伝統や文化を大切にしましょうと言われている所以です。大西市長の言葉の中にもよくこの様な言葉が出てまいります。又、市長はコミュニティーを強調されていますがこれは自律性と絆に繋がってくると考えられます。企業に関しても今日のグローバル経済の中で生き残っていくには特徴をもった経営をしていかなければ勝ち残る事は出来ません。お客様のニーズに応える点で他社と差別化出来る企業は広い世界市場で闘うことが可能となつてまいります。個人も同じだと思います。

## 創造都市元年

高松市長 大西 秀人



大西ひでと後援会会員の皆様におかれましては、平成24年の希望に満ちた輝かしい初春を健やかに迎えること、心よりお喜び申し上げます。私は、昨年春の高松市長選挙において再選を果たし、引き続き、高松市長として2期目の市政の舵取り役を担わせていただくこととなりました。これまでも増して、誠心誠意任務に当たりたいとの決意を強くしているところでございます。一昨年の瀬戸内国際芸術祭、昨年のアジア太平洋盆栽水石高松大会と続いた国際色豊かなイベントの成功を受けて、今年には、「創造都市」をテーマに掲げて、産業、国際交流、観光、文化・スポーツの各分野を有機的に連携させて高松を盛り立ててまいりたいと思えます。ちょうど今年度のNHK大河ドラマは「平清盛」です。源平の古戦場として縁のある「屋島」を中心に「高松」を情報発信できる絶好の機会です。干支の辰にちなんで、昇り龍のごとく勢いのある年にしたいものです。



January

1/9 高松市消防出初式



新春恒例の出初式がサンメッセ香川で開催され、式辞を述べるとともに、長年にわたり本市消防活動に多大なご貢献をされた消防団員の方々に表彰させていただきました。

February

2/2 都市計画道路 福岡三谷線開通式典



現地で行われた開通式典で、関係皆様にご挨拶するとともに、式典に続いて行われたパレードに参加しました。本市の発展に大きく貢献するものと期待しています。

March

3/17 東北地方太平洋沖地震 支援活動



被害に遭われた自治体の復興を支援するため支援対策本部を立ち上げ、応急給水隊や緊急消防援助隊の派遣、救済物資の提供など、支援活動に全力で取り組んでいます。

April

4/17 市長選で連続無投票当選



高松市長選挙は、4月17日(日)に告示。他の候補者の届け出はなく無投票当選が確定しました。告示日当日は、街頭演説を主体に精一杯選挙運動を繰り広げました。

May

5/14 高松市男木交流館における 人前結婚式



男木交流館(男木島の魂)で行われたカップルの結婚式に参列し、お祝いの言葉と交流館での結婚式第1号を記念してメモリアルカードを贈りました。

June

6/5 市民と市長との意見交換会



2期目の市政運営を始めるに当たり、私のマニフェストの政策を中心に市民の皆様へ説明し、これからのまちづくりについて意見交換を行う会をスタートさせました。

July

7/15 高松・上海線就航セレモニー



春秋航空の高松—上海間の定期チャーター便が就航し、高松空港で行われた就航セレモニーに出席しました。今回の就航で、観光客の増加が期待されるそうです。

August

8/7 瀬戸の夕陽夢プロジェクト 「SUNSET of SETO」 除幕式



毎年夏に開催されているサンポート・ジャズ・フェスティバルの10周年記念プロジェクトで、流政之先生の彫刻「SUNSET of SETO」の除幕式に参加しました。

September

9/17 高松市身体障害者 スポーツ大会



障がいのある人々とそれを支えている人たちのスポーツ大会として毎年開催。お集まりの皆様へ挨拶をした後、パン食い競争にも参加しました。

October

10/1 バス運行社会実験オープニング



サンメッセ香川からJR高松駅まで、「バスと電車の乗り継ぎ体験」に参加するとともに、ことん瓦町駅で開催したオープニングセレモニーで挨拶などを行いました。

November

11/3 仏生山ちようちん行列



JA仏生山の前から、お成り街道を通って法然寺まで、松平家の親族や地域の皆様方とともに、提灯を手に練り歩き、法然寺五重塔の完成をお祝いました。

December

12/26 知事・市長トップ会談



今年度2回目の知事とのトップ会談を市役所で開催し、高松駅周辺の交通機能の強化や、観光施設の受け入れ態勢の整備などに連携して取り組むことを確認しました。

2期目のテーマは

## 高松クリエイティブ・イノベーション

# 「創造性豊かな海園・田園・人間都市へ」

高松市長に就任後の1期4年間は、マニフェスト2007でお約束した各種施策の推進に全力を傾け、掲げていた50の項目のすべてにおいて一定の成果を挙げるとともに、新しい施策も数多く手がけることができました。2期目となるこれからの4年間は、1期目で築き上げてきた確かな土台の上に立ち、下記の「12の政策キーワード」のもとに掲げた施策の成果目標を明確にし、その実現に向けて全力で取り組みます。



- 1 「コミュニティ」の再生を図ります。**  
地域の絆、人の絆を大切にする地域社会を構築するため、コミュニティ協議会を中心に、地方分権型社会にふさわしい自治運営を行います。
- 2 「子ども・子育て」支援施策を充実します。**  
少子化対策として、また、子どもたちの健全育成を図るため、安心して子どもを生み育てることのできる環境を整備します。
- 3 「教育」の良質な環境を整備し、充実を図ります。**  
次代を担う子どもたちがしっかりと学業を身につけるとともに、夢や希望をはぐくみ、強い心と優しい心を養えるよう、ハード、ソフト両面で教育環境の整備を図ります。
- 4 「芸術文化・スポーツ」の振興を図ります。**  
人の心を豊かにし、身体を健やかにし、人生の楽しみや幸せを与えてくれる芸術文化やスポーツを振興することにより、アート・シティ高松、ヒューマン・シティ高松の地位を確立します。
- 5 「コンパクトで美しいまちづくり」を進めます。**  
人口が減少した超高齢社会においても、まちが活力を失わないよう、集約型のまちづくりに転換し、再都市化を進めるとともに、郊外部などの開発を規制して、コンパクトで美しい都市の再生を図ります。
- 6 「環境」の傘をすべての施策にかぶせます。**  
地球温暖化をはじめとした環境問題は、身近な暮らしやまちづくりに直接的に関連を持つことから、ごみ、エネルギー、交通はもとより、すべての政策分野において環境に配慮した取り組みを進めます。
- 7 「保健・福祉・医療」施策の充実を図ります。**  
少子、超高齢社会において、ますます増えてくる要介護高齢者に対するケアを中心に、多くの方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、保健、福祉、医療環境の充実を図ります。
- 8 「観光」振興を図り、交流人口を増やします。**  
人口減少時代において内需を拡大し、地域のブランドイメージや情報発信力を高めるため、観光を振興し、交流人口を増やします。

- 9 「公共交通・自転車」を利用したまちづくりを進めます。**  
コンパクトなまちづくりに併せて、過度に自動車に依存しない人と環境に優しい公共交通と自転車を利用したまちづくりを進めます。
- 10 「ものづくり・産業・雇用」の振興のための取組みを強化します。**  
農地、森林、海の保全と農林水産業の振興を図るとともに、高松のものづくりに光を当て、地場産品、地場産業の振興に取り組み、きめ細かな対策を講じて、雇用を拡大します。
- 11 「安全・安心」な生活を保障するため、防災対策や公共事業を進めます。**  
市民が安全、安心に暮らし、活発に諸活動を行っていくためには、都市のインフラ整備は欠かせないことから、防災対策など真に必要な公共事業等を推進します。
- 12 「行財政改革」に不断の努力をします。**  
厳しい財政状況の中、行財政全般にわたって事務執行の体制や進め方を不断に見直し、最小の経費で最大の効果を上げるよう努めます。